

様式

熊谷特別支援学校の活性化・特色化方針

(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	肢体不自由	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)71 (女)93	計 164
ホームページ	http://www.kumagaya-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	秩父線大麻生駅より徒歩 25 分、明戸駅より徒歩 20 分					
教育課程等の特徴	<p>本校の教育課程は心身の障害の状況や発達状況に応じて大きく4つに分けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類型・・・当該学年の指導内容・指導目標に準ずる教育課程 ・類型・・・授業の遅れ、学習進度を考慮し下学年の指導内容・指導目標も含めた教育課程 ・類型・・・知的障害の特別支援学校の学習を参考にした教育課程 ・類型・・・自立活動の目標・指導の手だてが主となる教育課程 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・熊特スポーツクラブやイングリッシュクラブで放課後の余暇活動を充実させている。 ・地域の社会人サークルや動物園などと地域交流を行っている。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開を年5回実施。 ・近隣の小中高等学校との交流及び共同学習を行っている。 ・「アートで築こう地域の輪」活動で児童生徒の作品をとおして地域との繋がりを大切にしている。 					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉的就労 13 名（就労継続 A 型 1 名、就労継続 B 型 2 名、施設入所 0 名、在宅 2 名） ・一般就労 0 名・進学 0 名 ・小学部は中学部へ進学・中学部は、生徒 1 名除き高等部へ進学 					

(児童生徒数：H29.5.1 現在、進路は H29.3 卒業生の状況)

本校の魅力！

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し、「生きる力」を育成するとともに、地域に理解される学校

- ・子どもの実態や個性に応じた授業を大切にし、教員の専門性を高める学校
- ・開かれた学校づくりと、地域の実情に根差したインクルーシブ教育システムの構築を進める学校
- ・子どもの健康と安全安心を大切にする学校

・合理的配慮としての ICT・AT を使った教育を推進している。教育的ニーズに応じて、児童生徒にはデジタル教科書・デジタル教材を使った授業を行っている。

・一人一人の障害の状況に応じた指導を行う時間「自立活動」に重点をおき、特に本校は肢体不自由の特別支援学校であるので、『こころとからだづくりの学習』に力を入れている。自立活動専任教員の指導の下、担任がマンツーマンの指導も行っている。

・卒業後地域で生き生きと生活できるために、小学部段階からキャリア教育を行っている。

・病弱等で通学が困難な児童生徒のために訪問教育を行っている。

・交流及び共同学習・通常学級支援籍・特別支援学校支援籍の取得を進め、多様な学びの場を設定している。

・集団生活を通して社会生活を身につけ、基本的な生活習慣等を確立するために寄宿舎が設置されている。



本校の 特色

子どもの実態や個性に応じた授業を大切にし、教員の専門性を高める学校
開かれた学校づくりと、地域の実情に根差したインクルーシブ教育システムの構築を進める学校
子どもの健康と安全安心を大切にする学校



目指す学校像

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し
「生きる力」を育成するとともに、地域に理解される学校

授業公開等や地域の
作品展への参加、
「アートで築こう地域
の輪」活動などで本校
の教育活動を発信し、
地域との連携を深めま
す。

家庭

教育目標

かしこく 心豊かに たくましく

地域

小学部

学んだことを生かせる子
友達と一緒になかよくで
きる子、最後までがんば
る子を育てます。

中学部

人の心を思いやり、自
分らしく豊かに生活で
きる生徒、持てる力を
発揮し、心身ともにた
くましく生きる生徒を
育てます。

高学部

進んで学習し、よく考
える生徒、社会経験を広
げ、人との関係を豊かに
できる生徒、健康・安全
に気をつけ、ねばり強く
取り組む生徒を育てます。

訪問教育部

生き生きと明るい児童
・生徒、楽しく学習に
取り組む児童・生徒、
心豊かな児童・生徒を
育てます。

寄宿舍

年齢が異なる集団の
中で様々な経験をと
おし、主体的に生活
できる力が身につく
ように支援します。

支援籍学習

通常学級支援籍、特
別支援学校支援籍の
指導支援の充実に努
め、多様な学び場を
提供します。



ICTの活用

子ども達のよさや優
れた力を認め、伸ばす
ための支援や指導を推
進します。



センター的機能

就学前施設・保育
園・小中高等学校等
の要請に応じた支援
など、地域のセンター
的機能を充実します。

どの子も卒
業後、地域で
生き生きと生
活できるように、小学部段
階からキャリア
教育を進め
ています。